

沼田っ子の「よさ」引き出す一貫・連携教育 ～三つの「新たなあゆみ」～

沼田町一貫・連携教育は、幼・小・中の円滑な接続を目指し、教育振興会のサークルを中心に、合同学習や乗り入れ授業等が始まっています。沼田っ子の「よさ」を引き出す三つの「新たなあゆみ」を紹介します。

★幼稚園児が小学校へ体験登校～園児と小1、楽しく充実した時間過ごす～

11月13日(木)、幼稚園園児22名が、小学校体育館にて、1年生19名と楽しく充実した時間を過ごしました。1年生がこの日のために、工夫を凝らした4つのコーナーで、お兄さん、お姉さんぶりを発揮し、それぞれの役割を果たそうとする姿は、堂々とした成長ぶりでした。終わりの感想インタビューでは、「体育館の大きさぐらい楽しかった」という感想に拍手が響きました。園児から児童へお礼のメダルのプレゼントもあり、4月の入学がますます楽しみな「新たなあゆみ」でした。立案・指導された先生同士の連携プレーにも拍手！



▲各コーナーを楽しむ園児と張り切る小学1年生

★教育講演会～西川信廣先生、一貫教育の方向性と実践を熱く語る～



▲圧倒的な理念とパワーの西川先生

11月26日(水)、生涯学習センター「ゆめつくるホール」において、我が国の一貫教育の第一人者、京都産業大学の西川信廣先生をお迎えし、「学校と教師を変える小中一貫教育」と題し、教育講演会を行いました。その一端を紹介します。

◎9年間を通じた教育課程とは？

→小中一貫教育とは、小学校と中学校の9年間の教育課程の構造的理解を通じた教師の指導力

(授業力・生徒指導力の)向上から始まる。

◎子ども像の共有は、授業の形態として具体化される。

→知識伝達型の授業がはびこるようでは状況は改善されない。

→小中一貫教育のめざすものは子ども像を共有した授業づくり

◎もはや連携はあたりまえ、腰の引けた一貫もダメ。

◎演題「学校と教師を変える一貫教育」は、学校や先生の成長が子ども達の成長に変わっていく取り組みである。

◎小中一貫教育は、学力向上、教育諸問題の減少に大きな成果を上げている。課題は、教師の側の問題が大部分。

◎求められるのは「何を知っているか」ではなく、「何ができるか」積み上げではなく、理想型をイメージした「逆向き設計の授業」が、次期学習指導要領には明記される。

～今後も西川先生にご指導をお願いして、一貫・連携教育を進めて参ります。大きな「新たなあゆみ」です。

★「小・中合同運動会」実施へ新たなあゆみ～沼田町一貫・連携教育全体会にて～

12月5日(金)沼田町一貫・連携教育全体会にて、生沼教育長、小川教育振興会会長より、27年度「小・中合同運動会」について示され、実施に向け新たな一步が確認されました。今後、これまでの小学校運動会と中学校体育大会の「よさ」を継承しつつ、児童生徒の発達段階を考慮し、両校による具体的な計画段階に入ります。小・中合同運動会実施への「新たなあゆみ」です。教職員の皆様の創意工夫、保護者、町民の皆様のご理解、ご支援をよろしくお願ひいたします。



▲幼・小・中の教職員が集う全大会